



▲配水管布設工事



▲水道メーター取り替え工事

水道施設整備の状況

平成19年度に実施した工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	水道水の安定供給を図るため、幹線となる配水管を布設	9,294万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良(更新)	3,092万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事や下水道工事などに伴う配水管の移設	4,061万円
その他送配水の工事	配水管工事に伴う道路の舗装復旧	147万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え(8年ごと)	2,867万円
その他設備工事	登別温泉浄水場の水臭気観測装置の設置や高圧電気設備の一部改修	2,557万円

財産の状況

バランスシート(貸借対照表)は、企業の財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産や負債、資本を表示したもので、株主などに会社の経営内容を知ってもらうために作成される報告書です。

次の表は、平成19年度末現在での水道事業の財政状態を表したものです。

【バランスシート】

区分	金額	区分	金額
固定資産	83億1,628万円	流動負債	1億2,692万円
有形固定資産 (建物・配水管・水道メーターなど)	83億1,628万円	未払金(未払いの債務)	7,323万円
		前受金(概算払いの水道料金)	11万円
		その他(下水道料金預り金など)	5,358万円
流動資産	4億2,283万円	資本金	68億2,383万円
預金現金(手持資金)	3億1,603万円	自己資本金 (建設改良積立金の取崩額など)	13億5,235万円
未収金(未納水道料金)	1億407万円	借入資本金(企業債)	54億7,148万円
貯蔵品(たな卸資産)	270万円	剰余金	17億8,836万円
その他流動資産	3万円	資本剰余金(工事負担金など)	15億3,907万円
		利益剰余金(減債積立金など)	2億4,929万円
資産合計	87億3,911万円	負債・資本合計	87億3,911万円



水道事業の決算状況に関するお問い合わせは

水道グループ

☎ 05 5501

FAX 05 5805

Eメール: gyomu@city.noboribetsu.lg.jp

借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、浄水場や配水管などの水道施設を常に整備し、これから更新時期を迎える水道施設を計画的に整備していく必要があります。

この整備には、億単位のお金が必要になり、手持ちのお金では賅うことができません。

そこで、国などから借金をして、水道料金の中から返済しています。水道事業では、この借金を『企業債』といいます。

また、この借金は、現在、水道を利用している市民だけではなく、将来、利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

平成19年度末現在で借入元金の残高は、54億7,148万円(バランスシート参照)となっています。これを給水人口1人あたりに換算すると10万5,141円になります。